

# 本書の構成

## 第2章 重症患者に対する手技

### 1. 心肺停止

**1** **Check** BLSならびにACLSは臨床医として必須の標準事項である。最新のAEDの機能に詳しい。BLSは医師のみならず医療の携わりの皆が習得しなくてはならない必須の技術である。

**2** **準備するもの** 【BLS】 バリアリアイス（フェイスシールド、ボケットマスクなど）、AED、【ACLS】 バッグ（ルアーマスク、口咽道エアウェイ、鼻咽道エアウェイ、モニター用酸素マスク、ジェムバド）もしくは鼻高圧バド、肺動脈導管セット、生体反応薬、アドレナリン、アミオダロン（ファンカンチ）、パロブロン（ピルシドン）  
※ACLSでは最新の設備ではないが、高度救急医療施設（医療チーム、LMA（ラリッジアルマスクエアウェイ）、LT（ラリッジアルマスキューブ）など）もあると望ましい。

**3** **適応** 【BLS】 心肺停止症例。【ACLS】 心肺停止症例（VF（心室細動）、PulsedSync VT（自律性心室細動）、PVA（肺動脈血栓塞栓）、Asystole（心静止））

**4** **禁忌** DNAR（Do Not Attempt Resuscitation：蘇生を試みないで下さい）と明確な指示がある場合。

**1** **BLS（Basic Life Support）**  
以下に示すステップで評価を行い、それぞれに対する処置を行う。

2019年10月に心臓病生に特化するAHAされた。心停止に対する階層的な心処置法（デカールと5つの段階）で、BLSの手順から心（気道・呼吸・胸骨圧迫）の手順（胸骨圧迫→気道→呼吸）に変更になった。成人の心肺蘇生術で、最も高い生存率の心臓病（冠動脈疾患）である。迅速開始が重要であるため、手順をC-A-Bに死因がより早く開始され結果の維持と一致する。

**6**

- 6-1 感染の予防と感染の発生**  
● 標準  
スタンダードプリコーション（マスク、手袋、ガウン、帽子、コブツの着用）を行い、距離が安全であることを確認する。
- 6-2 感染の予防**  
● 感染の発生  
● 感染の発生  
● 感染の発生  
● 感染の発生
- 6-3 感染の予防**  
● 感染の発生  
● 感染の発生  
● 感染の発生  
● 感染の発生

### 1. 心肺停止

**図1 成人のBLSアルゴリズム**  
AED | 自動体外式除細動器  
VF | 心室性頻拍・心室性細動  
PVA | 肺動脈血栓塞栓（心臓塞栓）  
ALS | advanced life support（高度救命術）

- ① **緊急度**：★★★★ 至急実行，★★★ 早期実行，★☆☆ 遅延許容  
**習得必須度**：★★★★ 絶対に必要，★★★ ある程度必要，★☆☆ できなくてもよい
- ② **自立度**：★★★★ 単独試行可能，★★★ 指導医観察下で可能，★☆☆ 指導医の介助役
- ③ **Check**：総合的な心構え・注意点など
- ④ **準備するもの**：必要な薬剤・器具など
- ⑤ **適応**：手技の適応となる患者の状態・状況
- ⑥ **禁忌**：手技の施行が禁忌となる患者の状態・状況
- ⑦ **手技**：カラー写真・イラストを交えて丁寧に解説

## 手技習得に役立つコーナー

**POINT**：手技のコツや重要ポイント

**注意**：手技を施行する上で注意すべき点

**memo** ：用語解説、発展的な内容の補足など